

生徒・保護者の皆さん

東京大学教育学部附属中等教育学校

校長 斎藤兆史

6月1日(月)よりの臨時休業解除に向けて

【授業体制】

(1) 6月1日(月)に1年生の入学セレモニー(1年生徒・教員のみ)と、2～6年生のオンライン始業式を行います(詳細は別途、Google クラウドルームでお知らせします)。

(2) 6月2日(火)より、2週間をひとまとまりにした1日おきの分散登校で授業を開始します。

・時間割は6時間の短縮授業です(お昼の用意をお願いします)。

・時程は以下の通りとします。

授業等		休憩時間
登校時間	07:30～08:50	15分 15分 15分 40分 15分
SHR	08:50～09:00	
1時間目	09:00～09:40	
2時間目	09:55～10:35	
3時間目	10:50～11:30	
4時間目	11:45～12:25	
昼休み	12:25～13:05	
5時間目	13:05～13:45	
6時間目	14:00～14:40	
SHR	14:40～14:50	
完全下校	15:10	
(7時間目)	14:50～15:30	

※ 通勤ラッシュを避けて早めに登校する生徒は、7:30以降、自分の教室で待機することができます。(自分の席に着いて静かに過ごせるよう、本などを用意してください。)

※5.6年生の空き時間自習場所は、当該学年に別途お知らせします。

※ 7時間目の使い方

・卒業研究を予定されている日に実施します。

・水曜のLHRは学年で必要に応じて設定する場合があります。

(3) 2週間後に全員登校の条件が整っていなければ、以降2週間ずつ分散登校を延長します。

分散登校の期間は以下の通りです。出席番号によって登校日が異なります。

・4年生以下は出席番号が奇数の生徒と偶数の生徒に分かれて授業を受けます。

・5.6年生は出席番号の末尾の数字で2グループに分けます。

ターム	週	期間	月水金 登校			火木 登校		
			1～4年	5年末尾	6年末尾	1～4年	5年末尾	6年末尾
1	A週	6月02日(火)～6月05日(金)	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9
	B週	6月08日(月)～6月12日(金)	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0
2	C週	6月15日(月)～6月19日(金)	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9
	D週	6月22日(月)～6月26日(金)	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0
3	E週	6月29日(月)～7月03日(金)	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9
	F週	7月06日(月)～7月10日(金)	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0
4	G週	7月13日(月)～7月17日(金)	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9
	H週	7月20日(月)～7月22日(水)	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0
	I週	7月27日(月)～7月29日(水)	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9

登校日を別の形で表すと…



银杏グループ



淡青グループ

ターム	奇数の日付で登校します			偶数の日付で登校します		
	1～4年	5年末尾	6年末尾	1～4年	5年末尾	6年末尾
	奇数	1,3,5,8,0	1,2,5,6,0	偶数	2,4,6,7,9	3,4,7,8,9
1	6/3(水). 6/5(金). 6/9(火). 6/11(木)			6/2(火). 6/4(木). 6/8(月). 6/10(水). 6/12(金)		
2	6/15(月). 6/17(水). 6/19(金). 6/23(火). 6/25(木)			6/16(火). 6/18(木). 6/22(月). 6/24(水). 6/26(金)		
3	6/29(月). 7/1(水). 7/3(金). 7/7(火). 7/9(木)			6/30(火). 7/2(木). 7/6(月). 7/8(水). 7/10(金)		
4	7/13(月). 7/15(水). 7/17(金). 7/21(火). 7/27(月). 7/29(水：木曜時間割)			7/14(火). 7/16(木). 7/20(月). 7/22(水). 7/28(火：金曜時間割)		

(4) 社会状況が落ち着き、全員登校が可能な条件が生まれた場合は、(2)の日程に則った全員登校での短縮授業に移行します。6月16日(火)、6月30日(火)、7月14日(火)のいずれかが切り替えの日となります。

(5) 6年生については、万が一他学年の分散登校が長期間継続する場合においても、早いタイミングでの全員登校を目指し、条件整備を行います。

(6) 全員登校での短縮授業に移行した後、さらに状況が好転すればいずれかのタイミングで通常の日程に戻します。

(7) 第4タームに入らずに全員登校が開始できた場合は、何らかの形で7月22日(水)に終業集会を実施します。

(8) 第4タームまで分散登校が続いた場合は、7月30日(木)にオンライン終業集会を設けます。その場合の第1回のハードル指導日は8月3日(月)とします。

8月25日の始業時にイ)分散登校とする、ロ)全員登校短縮授業とする、ハ)全員登校通常時程とする、のいずれにするかは別途検討します。現在9月以降に予定している行事についても見直しを行います。

【出欠の扱い・遠隔支援ほか】

(1) かぜ様症状がある生徒・発熱した生徒については、登校を見合わせてもらい出席停止扱いとします。

(2) 通学経路や学校での感染に不安を覚えて登校を見合わせる生徒についても、出席停止扱いとします。

(3) 出席停止の解除手続きは、別途「保健だより」でお知らせします。

(4) 出席停止中の生徒に対し、一部の授業についてはライブ配信等で支援を行う場合もありますが、授業の特性もありますので全ての授業ではありません。また、この支援を通して出席扱いとはいたしません。

さらに分散登校期間中、家庭にいる残り半分の生徒に対して配信を行って「授業に参加した」という前提で学習を進めることはいたしません。

(5) 生徒・教員やその家族から感染者が出た場合は、保健所および東京大学危機管理センターの指示に従い、速やかな対応を行う必要がありますので、緊急メールでお知らせください。その際には当然ながら、プライバシーを最大限尊重し、ご家庭の意向も踏まえながら慎重に対応いたします。

【保健衛生】

(1) 学校保健安全委員会・生活指導部の提案に則り、「密」を避けながら、生徒自身による感染防止策（マスクの着用・手洗いの徹底など）と除菌等の措置を組み合わせ、可能な限り安全に学校生活を送れるように心がけます。

(2) 生徒には毎朝の検温・健康チェックを必ず行ってもらい、Google フォームあるいは健康カードで集約します。少しでも健康に不安がある場合は登校を控えてください。出席停止扱いとなります。

(3) 6月1日までに、学校として確保できるものは以下の通りです。

- ・次亜塩素酸ナトリウム（業務用ハイター：主として用務員による消毒作業を想定）
- ・次亜塩素酸水精製の結晶（食品に使用可能なもの：教員による除菌作業を想定）
- ・手指消毒用エタノール（昇降口ならびに普通教室への配備を想定）
- ・手指洗浄用フォーム（トイレ・手洗い場に配備を想定）
- ・除菌シート 80枚パック×710個（生徒に配布し、自分の机上进行を清拭することを想定）
- ・図書館カウンター用のアクリルパーテーション
- ・養護教諭用のフェイスシールド、防護服、使い捨て手袋 等

(4) 学校として確保しない（できない）見通しのものは以下の通りです。

- ・マスク（政府から配給予定の布製マスクも未着ですが、これは到着次第配布いたします）
- ・生徒・教員用フェイスシールド（導入校での情報から、実用性が低いと判断しました）

【その他】

(1) 今年度の体育実技では、水泳・柔道の授業は実施しません。

(2) 部活動は当面の間、実施を見合わせます。（段階的な解禁を目指します）

(3) 生徒会活動は、担当教員の指導のもと遠隔の会議など工夫しながら適宜行います。

(4) 窓を開放して授業を行うため各教室に網戸の設置を検討していますが、実現するとしても時間がかかります。各自での対策をお願いします。

(5) 同様に、気温が上がっても空間を閉鎖してエアコンを入れることができませんので、気温が上がることが見込まれる日は、風通しの良い服装での登校や、給水用の水筒などの携行をお願いします。

この間の未曾有の状況の中で、学校教育の在り方そのものが問われるような事態となっております。

本校では、進路選択等に不利にならないような配慮を前提としつつ、休業解除後もいたずらに「失われた時数の取り戻し」に生徒を追い立てることなく、じっくりと探究的な学びを進めて参りたいと考えております。

また「密を避ける」ために小グループを直ちに導入することは困難ですが、その中でも学習集団が全体として協働していける学びの在り方を、生徒と共に探っていきたいと思っています。

さらに市民性の教育を通して、置かれている状況も感染症に対する考え方も多様な生徒同士が、個の尊厳を守り、互いを尊重しあう関係を築いていきたいと志しております。

生徒・保護者の皆さんも、さまざまな困難を抱え、また不安の中で学校再開を迎えられることと思います。ぜひ気兼ねなくご相談や、気づいた点のご指摘をいただき、よりよい学校運営のために手を携えていければと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。